

オリックス不動産(株)からの提案（京都水族館整備構想）の概要

1 設置場所

梅小路公園に隣接する京神倉庫跡地及び園内のメイン園路北側区域の一部
(現在、イベント会場やバックヤードとして利用しているスペースを活用)

… 別紙1「梅小路公園平面図」参照

2 構造 鉄筋コンクリート造，地上3階建て

… 別紙2「イメージ図（内観）」参照

3 面積 敷地面積 約10,000㎡ 【梅小路公園の面積は，117,133㎡】
延床面積 約14,000㎡

4 特徴

国内最大級の内陸型水族館

内陸に立地する水族館では，国内最大級の規模となる。

京都で初めての本格的な水族館となる。

環境共生型水族館

梅小路公園の緑豊かな自然環境と水族館が提供する海洋環境により，「緑」と「水」を体感できる。

次代を担う子どもたちをはじめ幅広い年齢層が，海洋環境を本格的に体感し，体験的に学べる環境学習機能を備えた水族館とする。

人工海水の使用，海水の循環による排水量の低減など，環境にやさしい施設とする。

地域に愛される水族館

環境教育や文化，交流の要素を盛り込んだ催しを通して，京都に住む市民の皆様に愛される水族館とする。

梅小路公園や周辺地域の更なる活性化に貢献する施設とする。

… 別紙3「提案書」参照

5 年間入場者数（オリックス不動産(株)による開業初年度の需要予測）

約200万人

6 開業予定 平成23年度

7 提案主体 オリックス不動産株式会社

同社は，「新江ノ島水族館」（平成16年4月開館）の運営実績があり，そのノウハウを京都水族館に活用していく。